



平成29年10月16日

各 位

会 社 名 山陽電気鉄道株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 上 門 一 裕  
コ ー ド 番 号 9 0 5 2  
上 場 取 引 所 東証第1部  
常務取締役  
問 合 せ 先 経営統括本部副本部長 荒 木 素 直  
兼ゼネラルマネージャー  
( T E L 0 7 8 - 6 1 2 - 2 0 3 2 )

当社子会社（株式会社山陽百貨店）の業績予想との差異及び  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社山陽百貨店（代表取締役社長：高野 勝）が「平成30年  
2月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の  
修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上

各 位

上場会社名 株式会社 山陽百貨店  
 代表者 代表取締役社長 高野 勝  
 (コード番号 8257)  
 問合せ先責任者 取締役業務本部長 岩野 誠  
 (TEL 079-223-1231)

## 平成 30 年 2 月期第 2 四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 4 月 13 日に公表した平成 30 年 2 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 30 年 2 月期通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値との差異について

平成 30 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想との差異 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,489	16	59	46	58.07
今回実績 (B)	9,312	△19	34	25	32.33
増減額 (B—A)	△177	△36	△24	△20	—
増減率 (%)	△1.9	—	△41.2	△44.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 2 月期第 2 四半期)	9,402	△23	26	37	46.58

#### 2. 平成 30 年 2 月期通期業績予想の修正について

平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,363	73	150	105	131.55
今回修正予想 (B)	19,112	40	129	85	107.09
増減額 (B—A)	△250	△33	△21	△19	—
増減率 (%)	△1.3	△45.4	△14.2	△18.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	19,248	30	119	96	120.35

#### 3. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間につきましては、リモデル効果が続く化粧品等の婦人雑貨売場が好調に推移したものの、全国的な不振が続く衣料品の伸び悩みにより売上高は 9,312 百万円となりました。利益面につきましては、経費の効率的な運用に注力したことにより、営業利益及び経常利益については前年同期に比し大きく改善し、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前年の特別利益計上の反動があったものの 25 百万円となりました。しかしながら、地方百貨店を取り巻く厳しい消費環境が継続する中、売上高、各利益ともに、計画値には届かず、前回予想を下回る結果となりました。

通期につきましても、第 2 四半期累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、上記のとおり予想を修正いたしました。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上